

2018年8月11日～14日 剣岳真砂沢定着

メンバー；CL 谷内、SL 宮坂、倉澤、若奈、結城

何年越しかの剣再訪を楽しんできました。

天候に恵まれず C フェースの登攀のみとなってしまいましたが、異常気象の影響で雪溪の消退崩壊が早いという予想の中、剣の懐に入り込めただけでもよかったです。

8/11 曇り、一時小雨～晴れ

AM4 時茅野 - 5:30 扇沢。案の定駐車場はメチャ混みだがなんとかクリアし 6:30 の始発トロバスに乗車。7 時小雨の降りだしたダム発。12:30 ハシゴ谷乗越。上部ガスっており眺望得れず。事前 TEL 問い合わせ確認どうり剣沢の橋はかかっており 14:30 真砂沢ロッジ着。テントスペースは充分空いておりジャンボエスパーズ設営後 CL、SL にて長次郎谷、源次郎尾根取り付きの偵察を行う。小屋の情報によると長次郎谷両俣とも上部クラック開いており登下降困難と。八ッ峰上半部も考えていたのだがメンバー構成からいっても無理せず中止とす。

8/12 くもり

AM3 時起床 - 4:15 発 - 5 時長次郎谷出合。雪溪はしっかりついており朝いちにしてはきついアイゼン登高を続け 7 時六峰 C フェース剣稜会ルート取付き着。熊の岩からのパーテ

ィー多く5~6組の先行あり。ゆっくり1時間の待ちののち8時登攀開始。フリクションの良く効く剣の岩に久しぶりに触れ気持ちよし。皆も快調に登っており昨日のつらいアプローチも帳消しにしてくれたのでは…。先行を待ちつつ登ったので時間を要し12時終了点。上部の雲は取り切れず本峰の姿は見えずじまいに終わっただけでなく一時小雨にもあう。そのためではないのだが三ノ窓側の下降点に向かう踏み跡に導かれてしまい50m いっぱいのマジな懸垂2回とガリーからコルへの登り返し2ピッチと登攀以上に体力を要する下降となっ
てしまいバリエーションの困難さ（楽しさ？）を味わうことができた。5-6コル15時、テンバ17時帰着。

8/13 終日、断続的に雨

昨日六峰稜上でキャッチできたGPVとヤマテン予報では本日は午後遅くの上がりがあるかぐらいで期待できず、予定していた長丁場となる源次郎尾根は中止としテントステイ。早朝から行動していた学生パーティーも次々と雨の中戻ってきている。ゆっくりとホットケーキパーティーを行ったりして一日を過ごす。

8/14 うすぐもり

AM3時起床-4:30下山開始。ハシゴ谷乗越から入山日には見えなかった八ッ峰の全貌が見渡せ満足。7:40内蔵助平。11:05ダム駅。12時扇沢着。